

感染症発生動向調査

Infectious Diseases Weekly Report

2023年第52週 (12月25～31日)

(国立感染症研究所感染症疫学センター)

●全数報告の感染症 (1～5類感染症)

(今週の報告数/累積。累積は2023年第1週から)

疾患名	報告数	累積
[1類]		
(報告なし)		
[2類]		
結核	225	14694
[3類]		
コレラ		2
細菌性赤痢	1	47
腸管出血性大腸菌感染症	23	3811
腸チフス	1	38
パラチフス		9
[4類]		
E型肝炎	15	552
A型肝炎	1	55
エキノкокクス症		13
エムボックス ¹⁾	1	225
オウム病		8
回帰熱		23
Q熱		1
コクシジオイデス症		4
ジカウイルス感染症		2
重症熱性血小板減少症候群	2	133
チクングニア熱		7
つつが虫病	20	434
デング熱	3	175
日本紅斑熱		501
日本脳炎		6
ブルセラ症		2
マラリア	1	36
ライム病		29
レジオネラ症	24	2271
レプトスピラ症		49
[5類]		
アメーバ赤痢	5	485
ウイルス性肝炎 ²⁾	3	242
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 ³⁾	24	2092
急性弛緩性麻痺 ⁴⁾		56
急性脳炎 ⁵⁾	8	643
クリプトスポリジウム症	2	16
クロイツフェルト・ヤコブ病	5	167
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	22	941
後天性免疫不全症候群	12	943
ジアルジア症	1	39
侵襲性インフルエンザ菌感染症	10	559
侵襲性髄膜炎菌感染症		21
侵襲性肺炎球菌感染症	57	1959
水痘 (入院例に限る)	6	400
梅毒	138	14906
播種性クリプトкокクス症	2	171
破傷風	2	109
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	114
百日咳	9	1009
風しん		12
麻疹		28
薬剤耐性アシネトバクター感染症		15

1) 2023年5月26日よりサル痘から感染症法上の名称が変更。2) E型肝炎およびA型肝炎を除く。3) 2023年5月26日よりカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症から感染症法上の名称が変更。4) 急性灰白髄炎を除く。5) ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

●定点把握の5類感染症

(「定点当たり」は報告数/定点医療機関数)

疾患名	報告数	定点当たり
インフルエンザ ⁶⁾	104612	21.65
新型コロナウイルス感染症	27987	5.79
RSウイルス感染症	189	0.06
咽頭結膜熱	8172	2.65
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11756	3.82
感染性胃腸炎	16830	5.46
水痘	468	0.15
手足口病	889	0.29
伝染性紅斑	43	0.01
突発性発しん	539	0.17
ヘルパンギーナ	86	0.03
流行性耳下腺炎	54	0.02
急性出血性結膜炎	7	0.01
流行性角結膜炎	537	0.80
細菌性髄膜炎 ⁷⁾	7	0.01
無菌性髄膜炎	16	0.03
マイコプラズマ肺炎	36	0.08
感染性胃腸炎 (ロタウイルス) ⁸⁾	3	0.01
インフルエンザ (入院患者)	1212	—
新型コロナウイルス感染症 (入院患者)	1942	—

6) 鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。7) 髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。8) 病原体がロタウイルスであるものに限る。

●定点把握の対象となる5類感染症

(前週からの定点当たりの増減と多い地域)

疾患名	増減	地域
インフルエンザ	↓	宮崎、高知、大分
新型コロナウイルス感染症	↑	北海道、長野、愛知
RSウイルス感染症	↑	北海道、福島、山形
咽頭結膜熱	↓	北海道、福井、鹿児島
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	鳥取、山形、福岡
感染性胃腸炎	↓	大分、愛媛、東京
手足口病	↓	宮崎、鹿児島、奈良
伝染性紅斑	↑	鹿児島、東京、香川、佐賀
ヘルパンギーナ	↓	愛媛、奈良、富山
流行性耳下腺炎	↓	和歌山、大阪、岡山
マイコプラズマ肺炎	↓	青森、福井、茨城

◆西部ウマ脳炎 (アルゼンチン共和国)

12月20日、アルゼンチンのIHRに基づく連絡窓口 (IHR NFP) は、世界保健機関 (WHO) に対し、西部ウマ脳炎 (WEE) のヒト感染例を通知した。アルゼンチンで最後に報告されたヒト感染例は1982～83年と1996年で、これは20年以上ぶりに報告されたヒト感染例である。

※第51週のデータはこちらをご覧ください。

[<https://www.niid.go.jp/niid/images/idsc/idwr/IDWR2023/idwr2023-51-52.pdf>]

